

北海道

動画リンク：https://youtu.be/2e0V_u1Y34w

北海道

今回は「北海道」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。学習にお役立てください。

外国の人が「東京も京都もみた。次はどこに行こうか」と悩んでいたら、北海道はいかがでしょうか。

「ホッカイドウはデッカイドウ」と言われるのは47都道府県のなかでダントツに広いからです。最も北にある自治体なので北国とも呼ばれます。「ダントツ」というのは「断然トップ」の略語で、日本人はよく使う言葉です。断然トップとは、2位以下を大きく離して明らかな1位という意味です。

経済の中心地である東京から遠く離れていることから、北海道は開発が遅れ、そのお陰で豊かな自然が残っています。

北海道の自然は、海、山、川、大地、湖、すべてが素晴らしく、みれば感動できますし、遊ぶことも可能です。

豊かな自然は魚も肉も野菜もおいしくしました。みてよし、食べてよし、遊んでよしの北海道の魅力を紹介します。

■北海道の大きさ

日本はたくさんの島でできた国です。大きな島のトップ4は1位本州、2位北海道、3位九州、4位四国です。

2位の北海道が一番大きいといわれるのは、北海道には一つの都道府県しかないからです。

北海道の面積は83,457km²で、7県ある九州の総面積（42,195km²）の倍です。一つの都道府県としては破格の広さです。

2番目に広い都道府県は岩手県（15,279km²）で北海道の5分の1。北海道は日本全体（377,960km²）の22%を占めます。

ところが北海道の人口は514万人で日本全体（1億2,495万人）の4.1%。北海道は広い土地に人が少ししかいないので快適なのです。

北海道はあまりに広いので4つのエリアに分けることがあります。

4つのエリアは、札幌と小樽と新千歳空港がある道央、函館がある道南、旭川と稚内がある道北、帯広と釧路と網走がある道東です。

エリアはさらに渡島、檜山、胆振、後志、石狩、日高、空知、留萌、上川、十勝、宗谷、オホーツク、釧路、根室の14個に分かれます。

■北海道の気候

北海道は寒く、年間の平均気温は5～10度。最も寒い月の1日の平均気温が0度を上回る場所は、北海道にはありません。

北海道の人たちは9月から「寒い」と言い始めて、翌年の6月まで「寒い、寒い」と言い続けるでしょう。春と夏が短く秋と冬が長いのです。

北海道には大量に雪が降ります。災害レベルになることもあり、交通がストップして経済は止まります。雪の事故で毎年、亡くなる人も出ています。

ただし北海道では寒さや雪や氷を活かしたイベントが開かれます。鹿追町の然別湖では冬に氷のバーが開業します。

旭川や帯広では7、8月は猛暑になることが珍しくありません。瞬間的に北海道の気温が沖縄の気温を超えることもあります。

寒い月と暑い月の極端な気温の差が、北海道の自然を特徴づけています。雪におおわれた場所に、数カ月で花が咲き乱れます。

気候変動の影響か、北海道の海に異変が起きています。サンマは2008年に北海道を中心に36万トン獲れていましたが今は2万トンほどしか獲れません。

■自然で遊ぼう

北海道を観光するなら自然に触れることをおすすめします。北海道でしかみられない景色と動植物がたくさんあります。

北海道なら海、山、川、大地、湖のどこでも高いレベルで楽しむことができます。北海道の自然の品質の高さは国が保証しています。

国立公園、国定公園、都道府県立自然公園のことを自然公園といい、開発を規制して、保護しながら利用することを法律で決めています。

北海道には自然公園が計23個あり、北海道の総面積の1割を占めます。内訳は国立公園と国定公園が6個ずつ、道立自然公園が11個です。

北海道の6個の国立公園は①利尻礼文サロベツ、②知床、③阿寒摩周、④釧路湿原、⑤大雪山、⑥支笏洞爺です。

利尻礼文サロベツ国立公園の観光スポットは、利尻島の利尻山や、エゾカンゾウという黄色い花をみることが出来るサロベツ原生花園です。

知床国立公園の観光スポットは動物ウォッチで、ワシ、アザラシ、シャチ、クマがいます。知床は世界自然遺産でもあります。

阿寒摩周国立公園の観光スポットは、マリモがいる阿寒湖、火山活動中の雌阿寒岳、冬に氷が割れる屈斜路湖です。

釧路湿原国立公園の観光スポットは、2万年かけてつくられた広大なしめった大地である湿原です。高い場所も高い木もなく平面です。

大雪山国立公園の観光スポットは、旭岳、トムラウシ岳、十勝岳の3つの山です。登山をする人の憧れの場所です。

支笏洞爺国立公園の観光スポットは、大都市、札幌の近くにある支笏湖。有珠山、恵庭岳、樽前山では火山活動をみることができます。

国立公園には遊歩道などがあって気軽に自然のなかに入っていきます。ただ奥に入っていくと危険なので経験と装備が必要になります。

北海道の海は夏でも少し冷たいので、海水浴場はあまりありません。遊覧船に乗ってクジラをみたり、釣りをするのがよいでしょう。

流氷は、ロシアから流れてくる大量の海の氷が、海岸から沖を埋め尽くす現象で、日本では北海道でしかみられません。

日本は緑が多いことで知られていますが、日本の林の60%は北海道にあります。そして北海道の面積の47%が林です。

ある登山家が、国内の素晴らしい山を100個、日本百名山として選びました。そのうち北海道には9個あります。

北海道の9個の日本百名山は利尻山、羅臼岳、斜里岳、阿寒岳、旭岳、トムラウシ山、十勝岳、幌尻岳、羊蹄山です。

北海道の山では、山菜やキノコなどの食べられる野生の植物をとることができます。ただ遭難やクマに襲われる危険があります。

上級の登山者は真冬の北海道の雪山に挑戦します。それは過酷な冒険で、多くの有名な登山家を鍛えてきました。

北海道の川ではカヌーやラフティングを楽しむことができます。観光業者が運営しているところなら小さい子供でも参加できます。

日本で最も多く牛乳を生産している北海道には、牧場がたくさんあります。作業体験ができる観光牧場もあります。

北海道には多くの湖があり、そのほとんどにキャンプ場があって泊まったりバーベキューしたりすることができます。

北海道は「地面を掘れば出る」といわれるほど温泉に恵まれています。定山溪と登別が有名ですが小さい温泉地も魅力があります。

■北海道の食・魚・野菜・肉

北海道の自然の中で遊んだら食べましょう。北海道はおいしいものがたくさんあり、しかも信じられないくらい安価なものもあります。

北海道の食といえば魚でしょう。サケ、サンマ、タラ、ホッケ、ニシン、ヒラメ、カレイ、タコ、イカ、シシャモ、ハタハタ、キンキ。

魚以外の海のものでは、カニ、エビ、ホタテ、ホッキ、カキ、ウニ、コンブ、ナマコもおいしい。焼いても生でも煮ても美味です。

北海道は野菜もたくさんつくられています。ジャガイモ、カボチャ、トウモロコシ、タマネギ、アスパラのほか、ユリネやフキも名物です。

北海道でも高級牛肉になる和牛が飼われています。ニワトリの唐揚げは、北海道では「ザンギ」と呼ばれています。豚もとてもおいしいです。

北海道では、お腹が痛くなりにくいA2ミルクという牛乳がつくられています。大量に牛乳があるのでチーズもたくさんあります。

北海道の田舎には個人や小さな会社が運営するチーズ製造所がいくつもあって、その土地の味を楽しめます。

おいしいものは飲食店でも食べられますが、おすすめしたいのがバーベキュー。スーパーで食材を買って焼くだけで北海道を味わえます。

バーベキューができる場所は北海道のいたるところにあります。焼く道具を貸してくれる施設を使えば食材を持ち込むだけです。

■北海道の野生動物

北海道内を移動すると野生動物に出会うでしょう。住宅地のすぐ横に大自然が広がっているので、北海道は天然の動物園みたいなものです。

タンチョウのことを、北海道で最も美しい野生動物と呼んでも誰も反対しないはずです。

タンチョウは全身が白で一部が黒く、頭のてっぺんは赤くなっています。北海道の先住民族のアイヌの人たちはサルルンカムイ(湿原の神)と呼んでいます。

タンチョウは全長1.4m、翼を広げると2.4mにもなる日本最大の鳥で、道東の釧路湿原で見ることができます。

タンチョウは2千羽くらいしかいない絶滅危惧種で、特別天然記念物でもあります。地域の人の世話でようやく生存できています。

北海道には野生のクマが1.2万頭いて、毎年人が襲われる事故が起きています。クマが出る場所には行かないでください。

クマは動物園にもいますが、どうしても野生の姿をみたくなってきたときは、知床の遊覧船なら海から安全に陸のクマをみることができます。

野生のキツネが人に近寄ってくるがありますが、餌をあげたり触ったりしないように。寄生虫のエキノコックスに感染してしまいます。

シカが突然道路に飛び出してきて車と衝突することがあります。命を落とす事故になることもあるので、運転するときは注意してください。

シカが何度も出てくる道路には、危険を知らせる黄色い看板が出ているので、それをみたら車のスピードを落としてください。

野生のクジラやイルカ、シャチをみることができる遊覧船は知床（羅臼、斜里）と室蘭から出ています。

オホーツク海の沿岸ではオジロワシやオオワシ、フクロウ、アザラシをみることができます。

旭川にある旭山動物園には日本中から客が来ます。人気があるのは行動展示という方法で動物たちをみせているからです。

行動展示とは、動物の野生の姿や行動を動物園で再現する取り組みです。旭山動物園では動物たちが活発に動いていて迫力があります。

■北海道の走り方

北海道は広いので一つの観光地から次の観光地に行くまでに時間がかかります。移動時間を短くするにはレンタカーがよいでしょう。

レンタカーなら一つの観光地に時間をかけることも、すぐに次に向かうこともできます。鉄道やバスを待つ時間も要りません。

外国の方がレンタカーを借りるには、日本で使える免許証とパスポートとクレジットカードなどが必要です。

外国人によるレンタカー事故が増えています。外国人がよく起こす事故は、向かってくる車との衝突と右折がからむ事故です。

観光バスは効率よく観光地を回ることができるうえに、自分で運転しなくてよいので事故のリスクが減ります。お酒を飲むこともできます。

鉄道（JR）をあまりおすすめしないのは、札幌以外では運行本数が少ないからです。待ち時間が長くなってしまい、旅には効率的ではありません。

徒歩で巡ることは本物の冒険になり、歩いた人にしかみられない北海道を発見できます。人々との出会いは感動的なものになるでしょう。

■北海道民

北海道の住民は穏やかな人が多く、旅人に親切にしてくれるでしょう。ただし少しシャイなので旅人のほうから声をかけてみてください。

北海道ではヒッチハイクが成功する確率が高いといわれています。住民は北海道を旅する人を応援しています。

■開拓の歴史とアイヌ民族

日本には多数派の和人のほかに、北海道の先住民であり少数民族のアイヌ民族がいます。かつて北海道には和人はいませんでした。

「和人」とは、日本列島のなかで日本語を母語とする人々、ないしは日本史の中心をなす人たちのことをいいます。

和人は1869年、北海道に開拓使という役所を置いて本格的に進出しました。未開の地で農業や工業などを始めることを開拓といいます。

政府は国民に北海道移住をすすめ、貧しい人や新しい場所で成功を目指す野心家たちがどんどん北海道に向かいました。

北海道には今でも本州などにルーツを持つ人がたくさんいます。北海道は移民の地なのです。

和人はアイヌ民族から、北海道の厳しい自然環境のなかで生き抜く方法を教わりましたが、一方で和人はアイヌ民族を迫害しました。

アイヌ民族は独自の文化を持っていましたが、和人はそれを否定したばかりか、土地を奪ったりアイヌ語を禁じたりしました。

和人によるアイヌ民族への差別は長期間にわたって続きましたが、今はアイヌ民族を尊重することが法律で定められています。

アイヌ民族のことはウポポイ（民族共生象徴空間）や阿寒湖アイヌコタン（釧路市）などで知ることができます。

北海道はかつて石炭が大量に採れて日本のエネルギーを支えていましたが、石油革命が起きて石炭産業は消えました。

■札幌は北海道の大都市

札幌は北海道唯一の大都市で、市の人口198万人は北海道全体の約500万人の約4割を占めます。

札幌の中心街には高層ビルやタワーマンションが立ち並び、東京と変わらない風景と経済活動があります。

北海道の自然を体験したい人は早く札幌を離れて地方に向かったほうがよいでしょう。ただし札幌のラーメンはおいしいことで有名です。

羊の肉の焼肉のジンギスカンやスープカレー、高級回転寿司、牛乳を使ったスイーツといった北海道グルメも札幌で味わえます。

「北海道」は、いかがでしたか？
今後の動画制作に活かしますので、感想を是非コメント欄から教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

